

第2章 都市の現況

(1) 人口・世帯数

①人口・世帯数の推移

人口は平成17年の26,868人まで増加し続け、その後は横ばい傾向で推移し、平成27年には26,760人となっています。

世帯数は増加し続けており、平成27年には10,944世帯となっています。

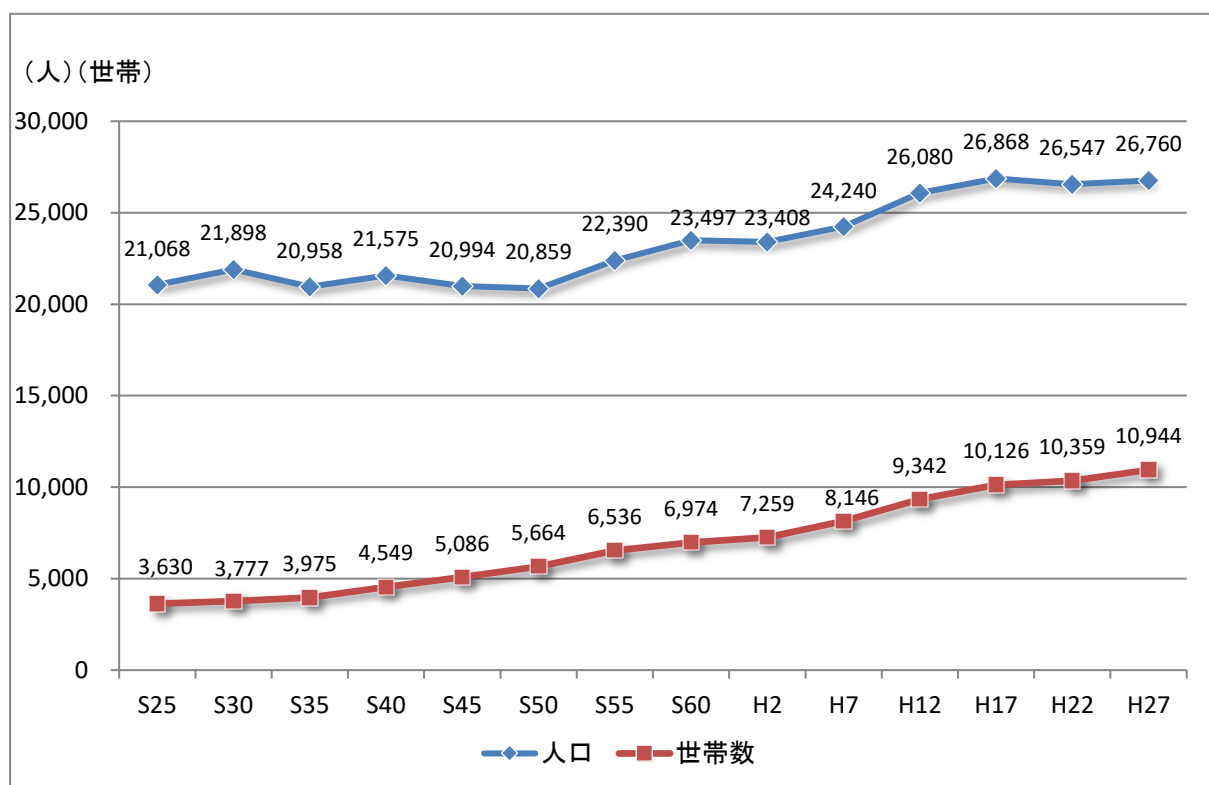


図 人口・世帯数の推移

資料：各年国勢調査

注：H17までは幕別町と忠類村の合算値（以下同様）

②少子・高齢化の進行

年少人口（15歳未満人口）率は昭和60年が23.6%に対し、平成27年は13.2%と10.4ポイント減少しています。一方高齢人口（65歳以上人口）率は昭和60年が11.0%に対し、平成27年が30.0%と19ポイント増加しており、少子高齢化が進行しています。

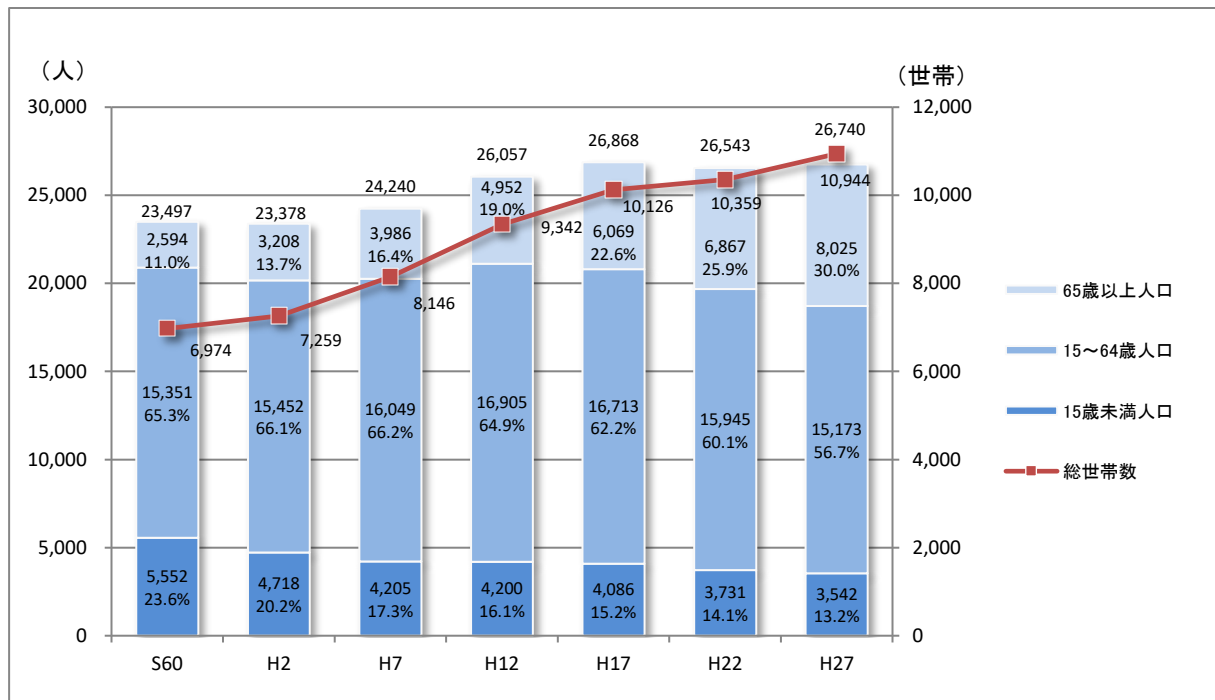


図 少子高齢化の進行状況

資料：国勢調査（年齢不詳を除く）

③帯広圏の人口推移

平成27年現在、帯広圏における本町の人口は帯広市、音更町に次ぐ26,760人となっています。

平成7年から平成27年にかけての人口増加率は1.10（2,520人増）ですが、帯広圏で3番目に留まっています。

表 帯広圏の人口推移

(人)

市町村名	H7	H12	H17	H22	H27	H27/H7	H27-H7
幕別町	24,240	26,080	26,868	26,547	26,760	1.10	2,520
帯広市	171,715	173,030	170,580	168,057	169,327	0.99	△ 2,388
音更町	37,528	39,201	42,452	45,085	44,807	1.19	7,279
芽室町	16,604	17,586	18,300	18,905	18,484	1.11	1,880
合計	250,087	255,897	258,200	258,594	259,378	1.04	9,291

資料：各年国勢調査

④地域別人口の推移

平成7年以降において地域別人口は幕別市街地、郊外地では減少し続け、平成27年にはそれぞれ、3,881人、4,664人となっています。一方、札幌市街地は増加し続け、平成27年には18,215人となっています。平成27年の幕別市街地、札幌市街地及び郊外地の人口比率は、それぞれ14.5%、68.1%及び17.4%となっています。

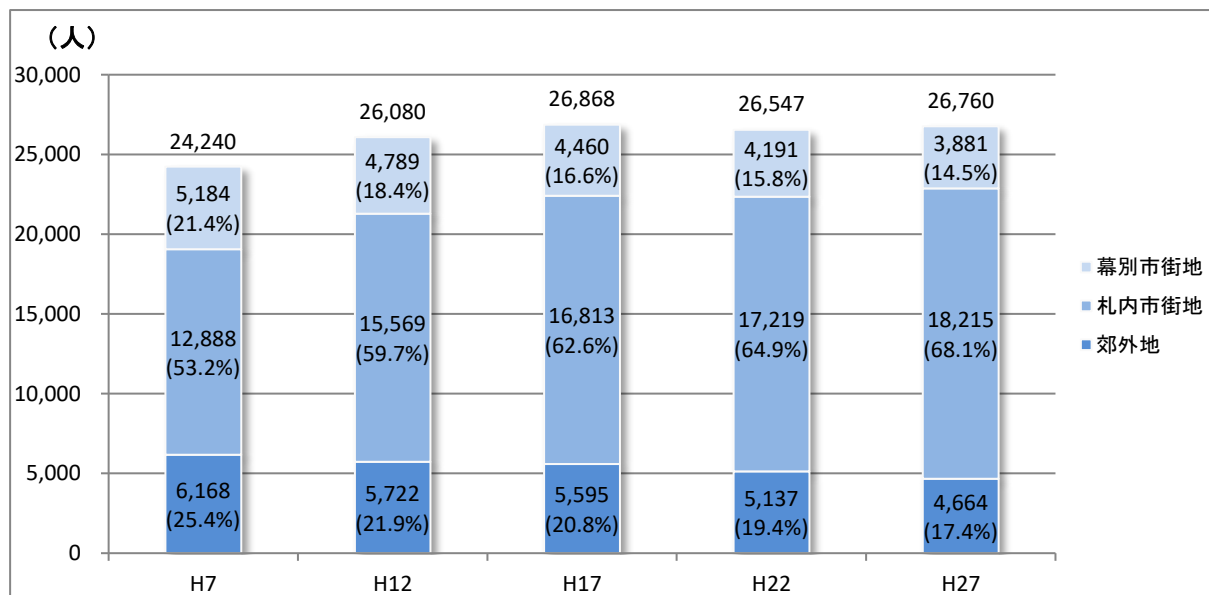


図 地域別人口の推移

資料：各年国勢調査



旭町鉄道沿線

⑤人口動態※¹²の推移

自然動態は出生数が減少傾向、死亡数は増加傾向にあり、令和元年における自然動態人口は169人減となっています。

また社会動態は、平成20年以降は転入が転出を上回り、社会増となっていました。平成27年以降は転出が転入を上回り、近年では社会減の状態が続いています。

人口動態全体としては、平成26年以降において社会動態の影響を受け減少し、令和元年では209人減となっています。

表 人口動態の推移 (人)

年次	自然動態			社会動態			増減
	出生	死亡	増減	転入	転出	増減	
H17	217	243	△ 26	1,200	1,038	162	136
H18	203	228	△ 25	1,197	1,215	△ 18	△ 43
H19	200	236	△ 36	1,069	1,146	△ 77	△ 113
H20	176	266	△ 90	1,080	974	106	16
H21	185	261	△ 76	994	953	41	△ 35
H22	193	253	△ 60	1,154	974	180	120
H23	208	239	△ 31	1,123	992	131	100
H24	177	285	△ 108	1,115	973	142	34
H25	185	304	△ 119	1,141	1,010	131	12
H26	171	283	△ 112	1,111	1,028	83	△ 29
H27	174	318	△ 144	1,000	1,095	△ 95	△ 239
H28	159	280	△ 121	982	1,021	△ 39	△ 160
H29	165	292	△ 127	1,031	1,111	△ 80	△ 207
H30	171	304	△ 133	948	1,039	△ 91	△ 224
R1	142	311	△ 169	921	961	△ 40	△ 209

資料：各年住民基本台帳

¹² 人口動態（自然動態と社会動態）

「自然動態」とは、一定期間における出生・死亡に伴う人口の動きを指し、「社会動態」とは、転入・転出に伴う人口の動きを指します。これら二つを合わせた人口の動きを「人口動態」と言います。

⑥都市計画区域内等の人口推移

1) 都市計画区域内

都市計画区域内人口及び比率は平成 7 年が 20,207 人の 83.4%に対して、平成 27 年は 23,697 人の 88.6%と 20 年間で 3,490 人増の 5.2 ポイント増となっており、都市計画区域内への人口集中が進行しています。

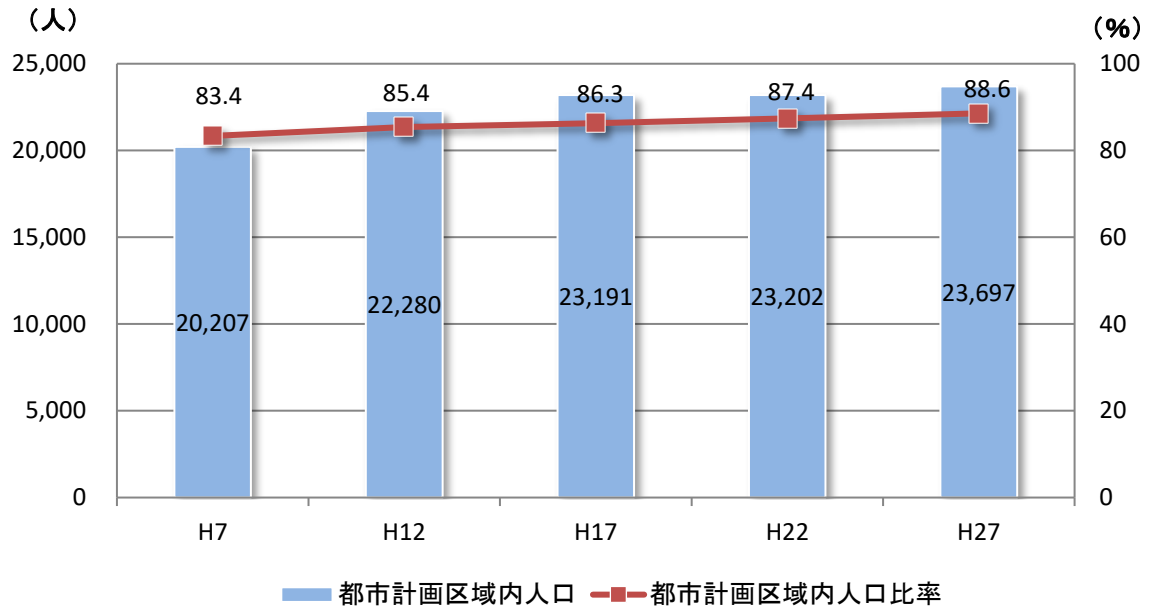


図 都市計画区域内の人口推移

資料：各年国勢調査

2) 市街化区域内

市街化区域内人口及び比率は平成 7 年が 17,962 人の 74.1%に対して、平成 27 年は 22,298 人の 83.3%と 20 年間で 4,336 人増の 9.2 ポイント増となっており、市街化区域内への人口集中が進行しています。

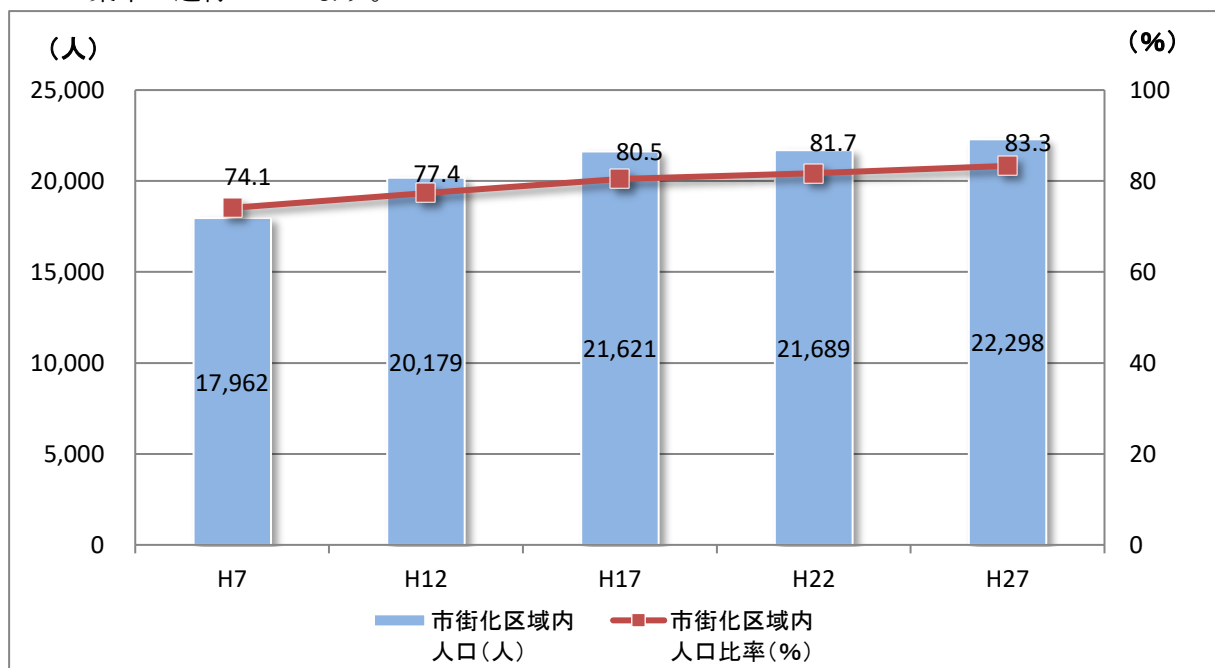


図 市街化区域内の人口推移

資料：各年国勢調査